

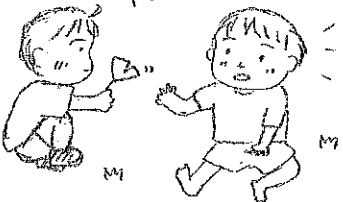
しいの実ぐみ

子ども同士の関わり



日中はポカポカと日差しが暖かい日もあり、ゆったりと散歩へ出掛けています。コースは園の周りやだるま寺を中心に安全な場所を選び、歩いている子どもはきれいに咲いた花を見つけて指をさして知らせます。また座りこんでちょうど良い大きさの石や葉っぱを見つけては、大切に握りしめて、保育者に見せています。ハイハイをする子どもはバギーに乗り保育者が「お花咲いてるね」「おさかな(メダカ)さん いるかな」と、声を掛けるとじっと見つめ、手を伸ばして触ろうとしています。歩いている子どもが時々バギーに近づいて拾った葉っぱを友だちに見せることもあります。

保育園へ帰ってくると2階まで階段を登ります。いつも繰り返して登るのでみんなが涙することもなく登れるようになってきました。

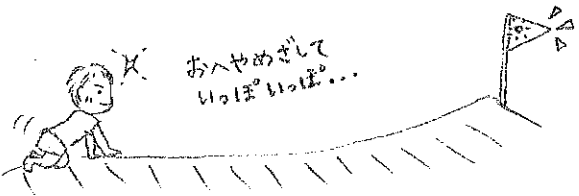


ハイハイで登っていると先に歩いて登っていた子どもが「おーい」と呼んだり、後から来る友だちを迎えに行ったりする姿もあります。そうして子どもたちのペースで保育者の手助けも交えて少しずつ相手を意識して関わりを持っています。

自分で

階段が登れるようになったよ

以前から身体を動かす、自分でする意欲を育む為にも大人がすぐに手を出さず見守り待つようにしていました。階段を登り降りするようになってきています。慣れない頃はエーンと泣いていた子どもが2段3段と進み、繰り返すことで最近では涙することもなく先頭に立ち、2階の保育室に自分で登ってたどり着くようになりました。抱っこをすればすぐに2階へ行けますが、子どもが「自分で行こうとする」意欲がとても大切です。次は階段を降りるためにどう身体を動かせば良いかを繰り返して少しずつ学んでいければと思っています。



お知らせ

それぞれに分かるように必ず名前を書いてください

これからも天気の良い日は散歩へ出掛けます。寒さ対策の為、トレーナーや長ズボン、薄手の汚れても良いジャンパーを着用しています。各1枚ずつ準備しておいてください。

- 靴をはいていない子どもは靴下をはきます
- ジャンパーはジャンパーかけにかけておいてください



しいの実・たんぽぽ・みずぐみ クラスだよ

2020.11.30
えんまちまぶね
りんぼん

秋も深まり、散歩へ出掛けると、子どもたちはどんぐりやきれいに色づいた葉っぱを拾い集めて楽しんでます。一段と寒くなりましたが、室内では暖房も入り、半袖半ズボンで元気に遊んでいます。寒さに負けない身体づくりも無理なくしていきたいと思っ



たんぽぽぐみ

☆見立てつもりあそび

手作り人形を作ってもらってから、ますますまごあそびが楽しくなってきました。人形をおんぶひもで背負うとカバンを手に下げてハンカチを「してー(頭に巻いて)」と保育者の尻へ持ってくる子ども、机の上にお皿を並べ食材をいっぱい乗せる子ども、「アーン」と手を合わせ「いただきます」をする子ども、みんなそれぞれにつもりになってあそんでいます。

1歳はひとりあそびから少しずつ友だちと関わってあそぶ楽しさが広がっていく時です。そして、日々の生活の中で大人がしていることを見て「もしもし」と電話ごっこ、かばんを持って「バイバイ」とお買い物ごっこ、又、人形にごはんを食べて「おいしいね」と言うような生活再現あそびも楽しくなってきました。この経馬も重ね、表現する力が一段と豊かさを増すと次は最初から「〇〇するつもり」というつもりあそびに発展していきます。(両手と葉っぱでケーキを作る等)そして、更に発展して友だちと役割を決めてお母さんごっこ、忍者ごっこ等のごっこあそびを楽しむようになります。

このあそびを通していくつもの育つ力があります。豆真の中でイメージする力、それを自分で考えて物言りを作ったり、家を作ったりと形にして表現する力、思いを言葉にしあそびを進めたり、なりきる中で他者の気持ちを察する力...等です。いずれも想像力や創造力、コミュニケーション力がないと成り立ちません。友だちと関わりながらぶつかったり、折り合いをつけたり、楽しさを共有したりして心を動かす情動体験は乳幼児期の育ちにとってとても大切です。



再現あそびはその最初の段階です。初めは大人が仲立ちし、子どもの表現力に共感して言葉がけることで見立てや本物の面白さが膨らんでいきます。

ぜひ、おうちでも生活のワンシーンを子どもと一緒に楽しんでみてください。



みずぐみ

11月は寒い日と暖かい日が交互にきて、体調管理に気をつけた月となりました。

今年も残り1か月となり、子どもたちの日々の成長を頼もしく感じる今日この頃です。

この季節に流行する感染症へのご協力をお願いする中ではありますが、引き続き、よろしくお願ひします。

いちよう 園庭のイチヨウの木も段々と黄色になってきました。園庭に出ると、保育者に「ウサギさん つくって！ キツネさんつくって！」とイチヨウの葉を持って言う子どもたちです。これからイチヨウの葉の黄色いジュウタンが敷かれ、どんな遊びが広がっていくか楽しみな季節です。

収穫感謝祭

今年は家庭から持ち寄った野菜はながたのですが、朝集まった時「今日は収穫感謝祭のお話しをします」と保育者が言うと、皆が集まります。野菜は種をまいて芽が出て、雨やお日様、虫たちの恵みにより野菜が大きくなるんだよと話すと、皆が真剣な目ざしで聞いています。「野菜だいすき」という絵本を読むと、「〇〇ちゃんのたいこん！」など自分のマークの野菜を指さして言っていました。

真似っこ大好き

2歳児は「自発性」や「自立性」が強くなり現われてくると言われています。そのためお父さん、お母さんがしていることに対して、「自分もやってみよう」という気持ちが生まれ、真似っこあそびも増えてきます。積み木を飛行機に見立てて遊ぶなど「みたて遊び」も上手になってくるので、真似っこあそびの時から広がって来た時には、付き合っ

お原真い

ロッカー(引き出し)の中に、長袖Tシャツ、トレーナー、長ズボンを1、2枚入れておいてください。保育室では暖房も入り体調が良ければ、半袖・半ズボンで過ごしますが、戸外あそびの時、その日の気候で調節します。